

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	27件	27,000円	297件	337,258円
財団	0件	0円	8件	103,000円
バネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	0件	0円	12件	160,000円

本日のプログラム

<委員会報告>

ロータリー財団委員会

石野委員長

ロータリー財団ができたのは1917年で今年で創設100周年です。アメリカジョージア州アトランタで開催された国際大会において全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金が作られたのが始まりです。ロータリー財団は会員の寄付のみを財源としており、今一度財団への理解を深めて頂きこれからの寄付にご協力頂ければと思います。ロータリー財団の財源は大きく分けて一般財源としてのグローバル補助金と地区補助金に分かれております。それから特別財源、用途指定寄付としてのポリオプラス、ロータリー平和フェロシッププログラムがございます。グローバル補助金はロータリーの重点分野に拠出されます。重点分野は6つありまして、①平和と紛争予防、紛争解決、②疫病予防と治療、③水と衛生設備、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展です。これに対して地区補助金は6つの重点分野以外に対して柔軟に拠出されるものという形になっております。グローバル補助金は大規模なもので、地域社会で特定されたニーズに応えるもの、地域社会の人々が積極的に参加するもの、地元の人々の知識スキルを向上させるもの、援助実施国またはロータリークラブが活動終了したあとも地域社会に長期的な恩恵をもたらすもの、測定可能な成果を残すもの、ロータリアンが積極的に参加するものといったような条件があります。これに対し地区補助金については柔軟な制度設計ができます。地区の裁量で決定運用し全責任を地区とクラブで持ち実行します。人道的、教育的、社会奉仕、国際奉仕活動のプロジェクトであることが条件です。ポリオプラスはご存知のようにポリオ撲滅に向けて取り組んでいる課題です。野生型ウイルスの感染が懸念される国と



しましてナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンがあります。かなり減っておりますが撲滅には至っていないのが現状です。パキスタンではポリオワクチン投与を行っていた医療従事者、フィールドワーカーが2015年9月末までの20か月間に80名も殺害されたという報告もございます。ロータリーフェロシップについてはポリオが撲滅したあとに用途指定寄付として主軸に入ってくるものとなっております。修士号取得プログラム、専門能力開発終了証プログラムなどの奨学金制度となっております。

米山奨学委員会

井上勇委員長

9月5日にメモワールプラザソシア21にてクラブ米山記念奨学委員長会議が行われました。第一部で湯川ガバナーのご挨拶、ロータリー米山記念奨学会理事より、米山の現状と昨年実績のお話がありました。第2590地区は寄付金額第1位をずっと保っております。昨年度も全国34地区の中で第1位でした。第2590地区の寄付金額は昨年度は平均で31,801円でした。その後米山記念奨学委員長の一楽委員長よりご挨拶がございました。



以下、『財団設立50周年記念 ともに語らおう米山奨学』というDVDを鑑賞しました。

①湯川孝則ガバナーと一楽祥子米山奨学委員長対談

- ・米山奨学事業の現状と今後について

②韓国ソウルで行われた2015-16ロータリー国際大会前日の米山学友合同懇親会の様子

- ・学友同士が団結すれば平和に貢献できる
- ・各国の学友会の皆さんのインタビュー
- ・各国学友会による演芸披露
- ・16の国から320名以上の参加

③韓国ソウルで行われた2015-16ロータリー国際大会の様子

- ・韓国の民族芸能でのお出迎え
- ・米山奨学会のブース出展の様子
- ・レセプションで交流を深める様子

④米山記念奨学会分科会の様子

- ・米山記念奨学会の事業説明
- ・世界で活躍する元米山奨学生3名の紹介
- ・各国学友会長より学友会活動についての報告

<点鐘>

中村会長